

2022年2月24日
西日本旅客鉄道株式会社

長門市駅に「Memories photo Spot」新設！

長門市駅には元乃隅神社の鳥居をモチーフにした、朱色のミニサイズの鳥居が20基建立されており、この度、長門市にゆかりのある「鯨」のデザインで装飾した「Memories photo Spot」を鳥居の横に新設しました。長門市に観光でお越しの方や、観光列車にご乗車のお客様にはここで「ホーム柱のダイナミックな鯨」、「朱色の鳥居」、「未来に続くレール」をイメージした背景を長門市での思い出作りや人生の節目として写真に収めていただくことができます。ぜひ長門市駅にお越しください。

1 「Memories photo Spot」について



123番線表示および鯨の装飾

2 鯨の装飾について

長門市はかつて捕鯨の町として栄え、300年以上の歴史があり、現在も地元の方の食として身近な存在となっています。また1992年から開始した「くじら祭り」や古式捕鯨に関する資料を展示している「くじら資料館」もあることから、ホームの柱を鯨のデザインで装飾しました。

元乃隅神社の鳥居が123基あることにあやかって「123番線」としました。また、1・2・3は始まりの数字として縁起の良い数字とも言われます。

3 お願い

「Memories photo Spot」は駅構内にございます。また皆様が安全に写真撮影をしていただくため、立ち位置の足元表示をしていますので、ご活用ください。

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に11番、17番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

